

TPP反対 農業 Part5

だけじゃない!

~6~

リゾート地として有名なブーケット島に近いタイ南部、バンガー県。ビーチから内陸に5キロほど入ると、外周を柵で囲ったゴム農場が現れる。働くのはミャンマー人ばかりで、賃金は1日1000円(1万1300円)と、タイ人の3分の1以下だ。

特定非営利活動法人(NPO法人)日本国際ボランティアセンター(JVIC)の医療スタッフ、下田寛典さん(32)は、利益を最優先するあまり海外の安い労働者を酷使する姿を続ける。

国際ボランティア団体 アジアの貧困拡大も



HIVに感染した4歳の男児(中央)。3カ月後に亡くなった(2010年7月、タイ・バンガー県で。下田さん提供)

「人事ではない」と危機感を抱く。

10年で急激に都市化が進み、危険な仕事の格好のんだ。高層ビルやマンションが林立し、物価も10年で5割上昇、経済は上り調子だ。

一方、ミャンマー人たちが暮らす家は、トタンを組んで建てた粗末な小屋。生きていくために性を商売にする女性も多くなり、子どもに免疫不全ウイルス(HIV)の感染が拡大する。だが高額な医療費を払えず、病院にいかれないまま死んでいく。それでも政情不安だ。行き過ぎた自由貿易の影響は、貧富の差の拡大

10年で急激に都市化が進み、危険な仕事の格好のんだ。高層ビルやマンションが林立し、物価も10年で5割上昇、経済は上り調子だ。

上智大学国際教養学部の中野晃一教授は「安い・強い・大きいことを良しとする多国籍企業が、弱者を退場させ利益を得ようとするのがTPP。米国でさえ利益を手に入れるのは特権階級だけ。公平な自由貿易の枠組みとは到底言えず、立場の弱い人たちは打撃を受ける」と警告する。

弱者に一層しわ寄せ

環太平洋連携協定(TPP)「国や農業の在り方まで交渉に参加すれば変えてしまう。日本も他

という形で現れてきた。首都バンコクでは、この

の企業にとって、「低賃金で使えて、きつい、汚

が担当しました)

(この企画は尾原浩子、鈴木祐子、細田勇治

が担当しました)